

「諦めず挑むことが大事」

三宅父娘が講演

五輪重量挙げメダリスト 豊見城高生にエール



三宅選手(右)と父の義行コーチ
30日、豊見城高校

読ん
て
る
読
ん
が
る
NIE

ロンドンオリンピック女子重量挙げ銀メダリストの三宅宏美選手と父でコーチの義行さんを招いた講演会「メダル獲得までの道のり・夢に向かって」が30日、県立豊見城高校(與那嶺善道校長)で開かれた。三宅選手はオリンピック3度目の出場でメダルを獲得したことを紹介。「スランプ時でも諦めることをやり続けてきた。諦めずに挑み続けることが大事」と生徒たちにエールを送った。

義行さんはメキシコオリンピック重量挙げフェザー級で銅メダルを獲得した。三宅選手が重量挙げを始めたころを振り返り、「娘に重量挙げを薦めたわけではない。本人の目標がかなうようにサポートをしてきた」と話した。

生徒からの「高校時代はどういう学生だったか」という質問に、三宅選手は「重量挙げに夢中の高校生だった。オリンピックの目標のために、人と違う練習をすることを意識していた」と話した。三宅選手の銀メダルを首にかけた伊地龍海君(17)は「3年間は「銀メダルは想像していたよりも重かった」と笑顔を見せた。